

1. 総 括

令和5年度は、「生きにくさを抱えた人と社会をつなぐハブ的な役割」を目的として、介護サービス包括型で日中サービスを提供した。昨年に引き続き、世話人及び生活支援員を増員して日中支援を行った。従来行っていた通院同行支援に加えて、買い物同行支援、相談支援、余暇支援などを行いながら、利用者のニーズに応えてきた。土曜日の余暇支援では、買い物や外食など利用者のニーズを新たに引き出し、新しい経験を広げていくことができた。世話人室で過ごす利用者が増え、精神的に安定した利用者も増えた。地域課題である引きこもりについては、他事業所の支援者と連携し利用者を受け入れた。

また、6か月に1度のモニタリングを実施し、個別支援計画を作成、地域の中で協力をしながら自分らしく生活ができるように必要な支援をした。

2. 年間利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
延利用者数	358	388	357	394	386	373	387	373	395	365	342	333	4451
1日平均利用者数	11.9	12.5	11.9	12.7	12.4	12.4	12.4	12.4	12.7	11.7	11.7	10.7	12.2

3. 担当職員

管理者 1人

サービス管理責任者 1人

世話人 12人、生活支援員 3人

4. 年間支援実施内容

健康管理

- ・症状や状況に応じて通院同行を実施した。
- ・毎日検温をして新型コロナウイルス感染の予防をした。
（発熱時は抗原検査で確認をした）
- ・本人やご家族の希望に合わせお薬を預かり、定時服薬の支援をした。

食事の提供

- ・栄養を考えたバランスの良い食事の提供を心掛けた。
- ・衛生面強化のため、布製ふきんを廃止しキッチンペーパーを使用するようにした。
- ・外食デイを復活した。
- ・新規GH契約者には契約時にアレルギーの有無や嗜好の聞き取りを行った。

生活支援

- ・調理、洗濯、掃除を一緒に行いながら家事支援を行った。

- ・利用者のニーズに合わせた定期的な整理整頓のサポートを行なった。
- ・家電の買い替えの同行や、設置の手伝いを行なった。
- ・利用者のニーズに沿った買い物支援を行った。
- ・世話人室で軽作業を行うことで、在宅支援として工賃がもらえるしくみをつくった。
- ・工芸教室を開き、利用者さん同士が交流できるよう支援した。

相談支援

- ・友人関係での悩みや、生活の中で困っていることの相談にのった。
- ・世話人室で茶話会を行い、利用者さんと話せる機会を増やした。
- ・様々な日中活動や余暇活動に参加したことで、心理的な不安や発作が減少した。

環境整備

- ・老朽化したエアコンを新設した。

防火管理

- ・地域の避難訓練は、コロナ禍により中止
- ・年間2回の防火設備点検を行った。

5. 職員研修・支援会議

職員研修

- ・職員全体研修（虐待防止研修）

支援会議

毎月第4火曜日9：30～から世話人による支援会議を開催。

GHでの入居者の様子について共有し、意見交換を行った。モニタリング計画に基づいて、個別支援計画の策定を行った。

苦情解決・事故・ヒヤリハット報告

- ・事故防止のために、ヒヤリハット報告書は小さなことでも報告するように心がける。
- ・苦情0件

虐待防止

- ・日々の声かけ目配りにより、未然防止に努めます。
- ・研修会に参加し、職員間で情報共有する。